

# 2025年度 第1四半期 クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.

**KURIMOTO**

# 目次

---

- [2025年度 第1四半期実績](#)
- [2025年度 通期業績予想](#)
- [トピックス](#)
- [参考資料](#)

# 2025年度 第1四半期実績

# 2025年度 第1四半期業績概要

<連結>

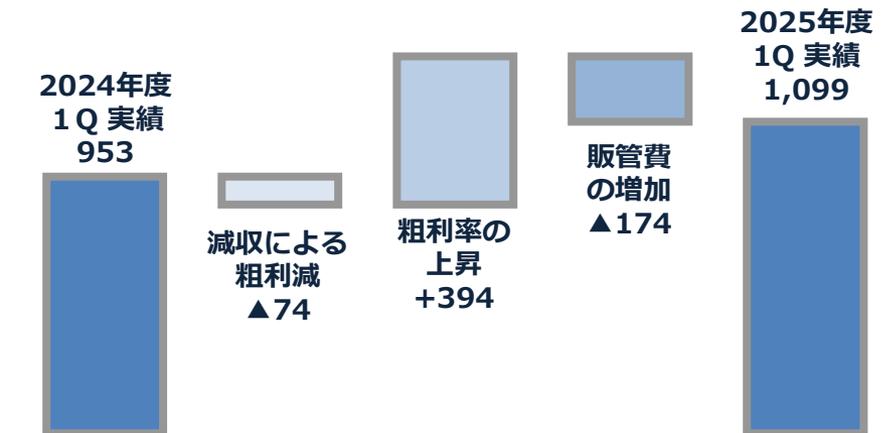
(単位：百万円)

	2024年度 1Q 実績 (A)		2025年度 1Q 実績 (B)		前年比 (B-A)	2025年度 期初予想 (C)	
売上高	27,729	-	27,433	-		▲296	125,000
営業利益/率	953	3.4%	1,099	4.0%	146	7,500	6.0%
経常利益/率	1,008	3.6%	1,030	3.8%	22	7,400	5.9%
四半期純利益/率	961	3.5%	1,559	5.7%	597	7,000	5.6%

## 売上高



## 営業利益

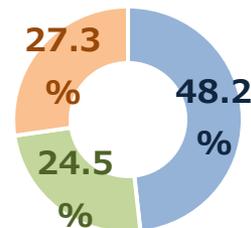


# セグメント別業績

(単位：百万円)

		2024年度 1Q 実績 (A)	2025年度 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025年度 通期予想
ライフライン	売上高	13,496	13,237	▲258	63,000
	営業利益	727	589	▲137	4,300
	(率)	(5.4%)	(4.4%)	(▲1.0pts)	(6.8%)
機械システム	売上高	7,166	6,711	▲454	28,000
	営業利益	451	419	▲32	1,500
	(率)	(6.3%)	(6.2%)	(▲0.1pts)	(5.4%)
産業建設資材	売上高	7,067	7,484	417	34,000
	営業利益	38	414	376	2,200
	(率)	(0.5%)	(5.5%)	(5.0pts)	(6.5%)

売上高割合



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

# 事業セグメント別概況

## ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2024年度 1Q 実績 (A)	2025年度 1Q 実績 (B)	前年比 (B - A)	2025年度 通期予想
売上高	13,496	13,237	▲258	63,000
営業利益	727	589	▲137	4,300
(率)	(5.4%)	(4.4%)	(▲1.0pts)	(6.8%)

### 営業利益増減内訳 (連結)



### 事業セグメント別売上高・営業利益

#### 売上高

パイプシステム部門にてグループ会社の売上高が増加したものの、前年同期に計上されたバルブシステム部門やパイプシステム部門における大型案件の反動減などにより▲258百万円の減収

#### 営業利益

減収による利益減や高利益率案件の減少などにより▲137百万円の減益

# 事業セグメント別概況

## 機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2024年度 1Q 実績 (A)	2025年度 1Q 実績 (B)	前年比 (B - A)	2025年度 通期予想
売上高	7,166	6,711	▲454	28,000
営業利益	451	419	▲32	1,500
(率)	(6.3%)	(6.2%)	(▲0.1pts)	(5.4%)

### 営業利益増減内訳 (連結)



### 事業セグメント別売上高・営業利益

#### 売上高

素形材部門において破碎機本体や鋳物部品が順調に推移したが、機械部門において前年同期に計上された大型案件の反動減などにより▲454百万円の減収

#### 営業利益

粗利率の上昇による利益増があったものの減収の影響が大きく▲32百万円の減益

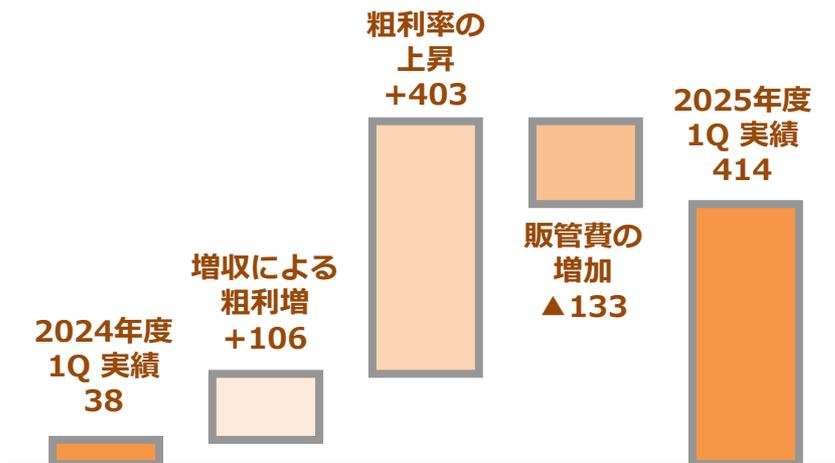
# 事業セグメント別概況

## 産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2024年度 1Q 実績 (A)	2025年度 1Q 実績 (B)	前年比 (B - A)	2025年度 通期予想
売上高	7,067	7,484	417	34,000
営業利益	38	414	376	2,200
(率)	(0.5%)	(5.5%)	(5.0pts)	(6.5%)

### 営業利益増減内訳 (連結)



### 事業セグメント別売上高・営業利益

#### 売上高

建材部門において道路消音関係の工事進捗遅れがあったが、化成品部門において小水力発電向け導水管や下水道関連製品が順調に出荷したことに加えグループ会社の増収が寄与し417百万円の増収

#### 営業利益

増収に加え、前年同期に計上されていたグループ会社の追加工事費用の反動も寄与し376百万円の増益

# 2025年度 通期業績予想

# 2025年度 通期業績予想

<連結>

(単位：百万円)

	2024年度 通期実績 (A)		2025年度 通期予想 (B)		前年比 (B-A)	中期経営計画 公表値		計画比 (B-C)
売上高	126,669	-	125,000	-	▲1,669	125,000	-	変更なし
営業利益/率	7,930	6.3%	7,500	6.0%	▲430	7,500	6.0%	変更なし
経常利益/率	8,477	6.7%	7,400	5.9%	▲1,077	-	-	-
当期純利益/率	6,905	5.5%	7,000	5.6%	95	-	-	-
ROE	8.2%	-	7.0%以上	-	-	7.0%以上	-	-

ライフライン事業など国内公共事業関連の官需分野では前年並みの需要が見込まれるも、機械システム事業などの民需分野において案件の発注見送りや延期の影響を受けることから減収減益を見込む。一方で、政策保有株式の縮減に伴う特別利益の計上により当期利益は前年並みを確保できる見込み。

# セグメント別業績

		2024年度 通期実績 (A)	2025年度 通期予想 (B)	前年比 (B-A)	中期経営計画 公表値 (C)	(単位：百万円) 計画比 (B-C)
ライフライン	売上高	62,206	63,000	794	63,000	変更なし
	営業利益	4,029	4,300	271	4,500	▲200
	(率)	(6.5%)	(6.8%)	(0.3pts)	(7.1%)	(▲0.3pts)
機械システム	売上高	30,959	28,000	▲2,959	29,500	▲1,500
	営業利益	1,747	1,500	▲247	1,700	▲200
	(率)	(5.6%)	(5.4%)	(▲0.2pts)	(5.8%)	(▲0.4pts)
産業建設資材	売上高	33,504	34,000	496	32,500	1,500
	営業利益	2,586	2,200	▲386	2,000	200
	(率)	(7.7%)	(6.5%)	(▲1.2pts)	(6.2%)	(▲0.3pts)

## ライフラインセグメント

物価高・人材不足等の問題は継続しているが、国土交通省が進める上下水道耐震化計画などの影響により増収増益を見込む

## 機械システムセグメント

原材料・エネルギー・輸送コストの高騰に加え、2024年度に受注を予定していた案件が客先都合により見送りや延期となった影響などにより減収減益を見込む

## 産業建設資材セグメント

インフラ更新需要の取り込みを予想するも、前期にグループ会社が出た追加工事による特別な利益計上案件などはないため今期は増収減益を見込む

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

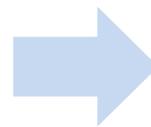
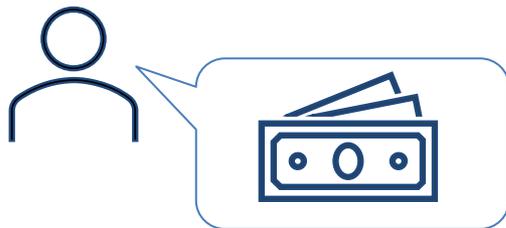
# トピックス

# 株式分割の実施

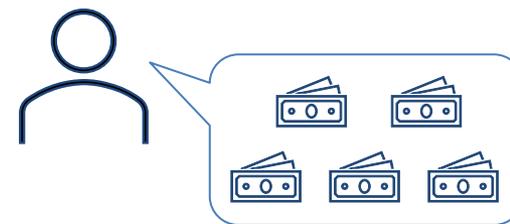
分割比率	<b>1 対 5</b>
分割基準日	2025年 9月30日 (火)
効力発生日	2025年10月 1日 (水)

例) 分割前に栗本鐵工所の株式を 100株 保有していた場合 (株価 : 5,000円)

$100 \text{ 株} \times 5,000 \text{ 円} = 500,000 \text{ 円}$



$500 \text{ 株} \times 1,000 \text{ 円} = 500,000 \text{ 円}$



✓ 投資単位が小さくなるため株式購入がしやすくなります

# サニタリー配管分野への事業拡大 (M&A)

## 産業建設資材セグメント

- サニタリー配管<sup>※</sup>分野を新たな成長分野と位置づけ、高い技術力とノウハウを持つツカサ工業株式会社の全株式を取得  
※食品や薬品を製造する工場内で使用される配管で、一般の配管より高い衛生度が求められる
- 食品・医療分野での安全性と品質の確保・維持といった社会課題の解決にも貢献可能

会社名	ツカサ工業株式会社 
所在地	大阪府泉佐野市日根野2321-1
設立年月日	2007年5月18日
資本金	20百万円
従業員数	15名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サニタリー配管の製造、販売</li> <li>・機器ユニットの組立、サニタリー配管工事</li> </ul>



2024名古屋ポートメッセでの展示会の様子

# 參考資料

# 会社概要 (2025年3月末時点)

所在地：  
大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号

創立：  
1909年2月2日（明治42年）

設立：  
1934年5月10日（昭和9年）

主要事業領域：  
社会インフラ事業、産業設備事業

代表者：  
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：  
311億円

従業員数：  
連結 2,182名  
単体 1,337名

グループ会社：  
国内外21社で構成



菊本 一高

# 事業部門の構成と主な製品①

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

## 社会インフラ = 安定性

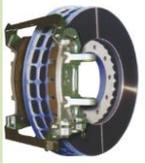
上下水道、道路、通信、交通など  
人・生活において基盤となる施設。

売上比率  
約50%

売上比率  
約50%

## 産業設備 = 成長性

メーカーの生産活動に必要な  
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	検査路等の FRP(M)製品
					
					

# 事業部門の構成と主な製品②

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業者
		バルブシステム	水道用バルブ 産業バルブ	水道事業者、 製鉄・電力等各種プラント、 ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、 二次電池関連メーカー 他
		プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業	
		素形材エンジニアリング	耐摩耗鋳物 破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、 砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、 ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、 ゼネコン、フィルム関連メーカー

# 経営理念/ありたい姿

## 経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

## ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

# 拠点一覧 (2025年3月末時点)

## 国内本支店

本社（大阪）、東京、北海道、東北  
名古屋、中国、九州

## 製造拠点

加賀屋、堺（パイプシステム）  
住吉（バルブシステム、機械システム、素形材）  
交野、古河（建材）  
湖東、滋賀（化成品） 他

## 海外拠点

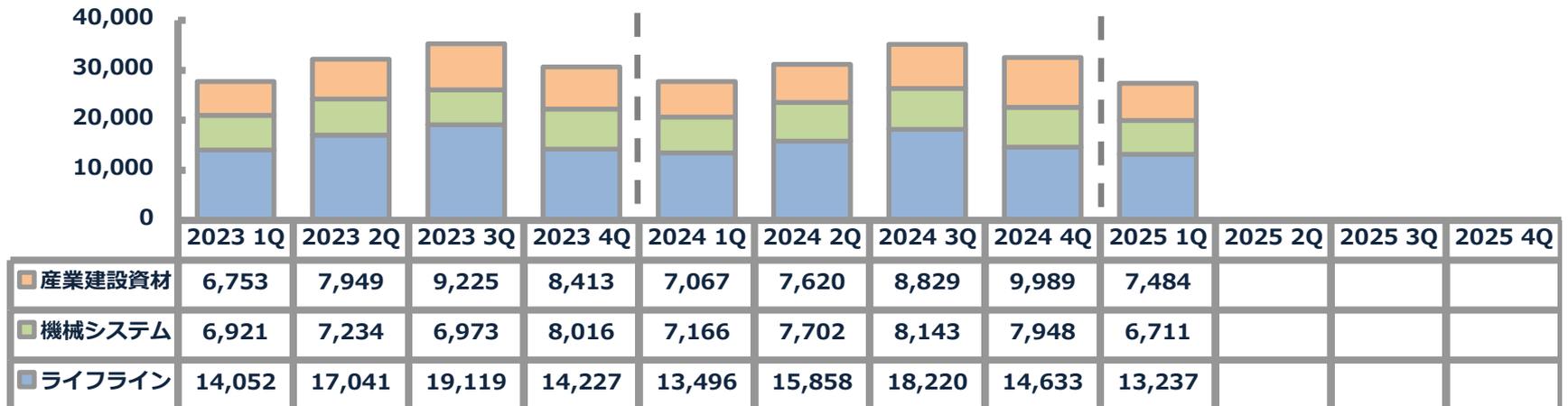
ヨーロッパ事務所（ドイツ）、  
ジャカルタ事務所（インドネシア）



# セグメント別 四半期業績推移 (連結)

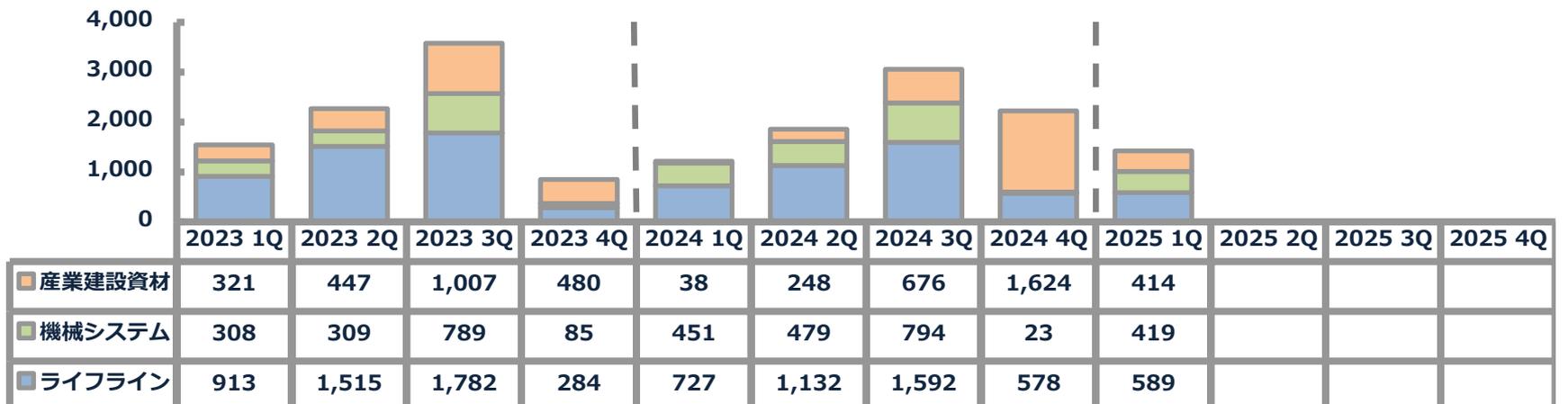
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)

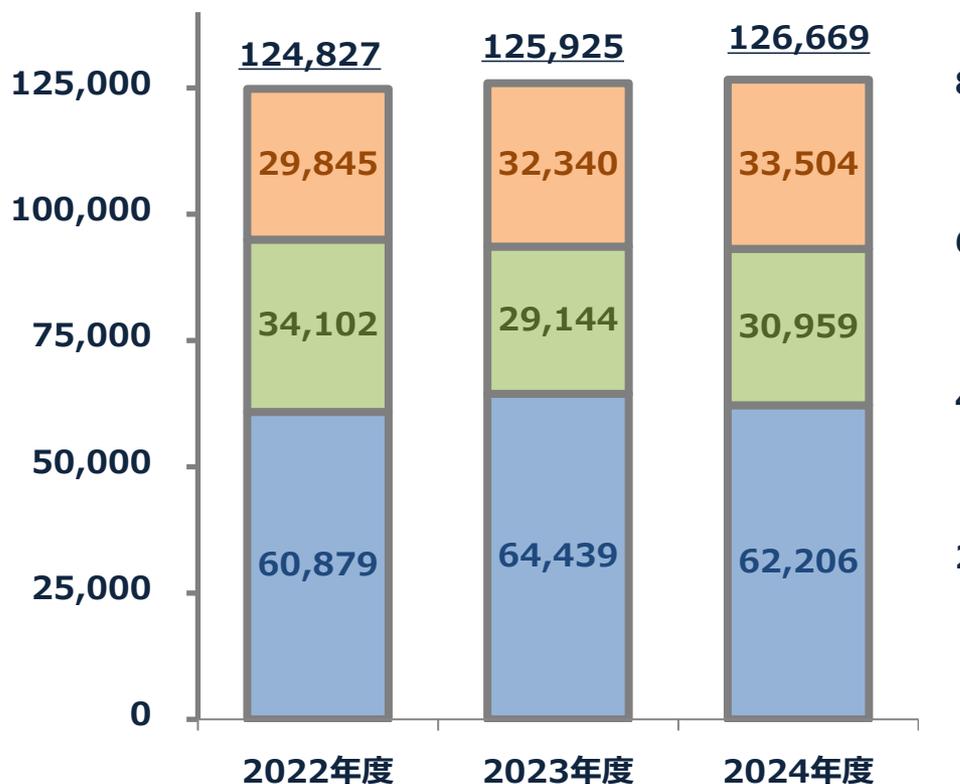


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

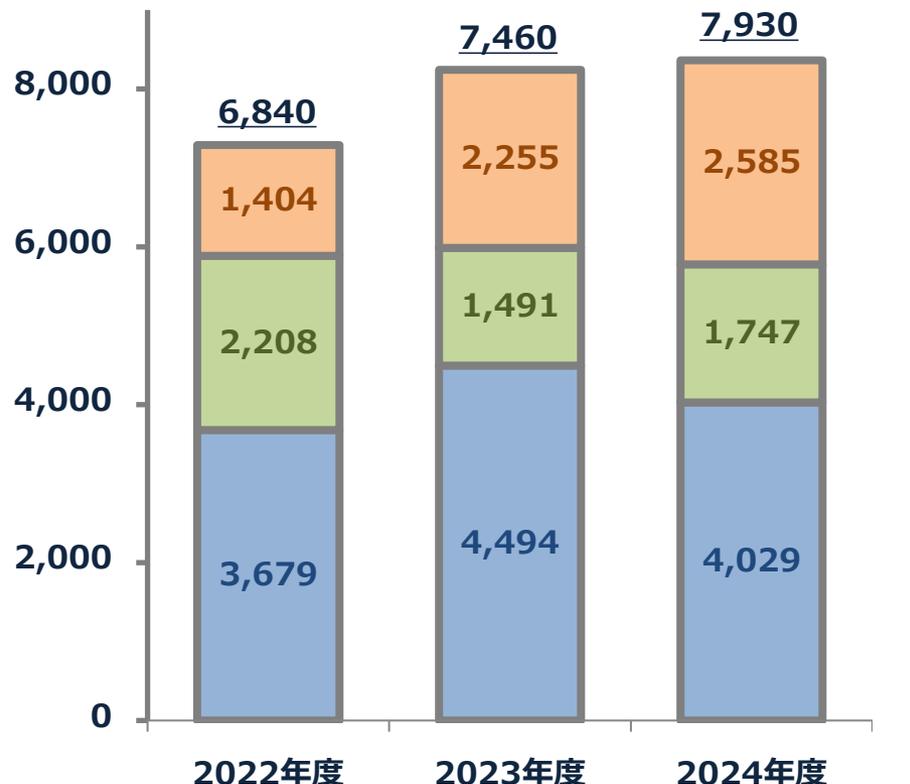
# セグメント別 年度業績推移

(単位：百万円)

## 売上高



## 営業利益

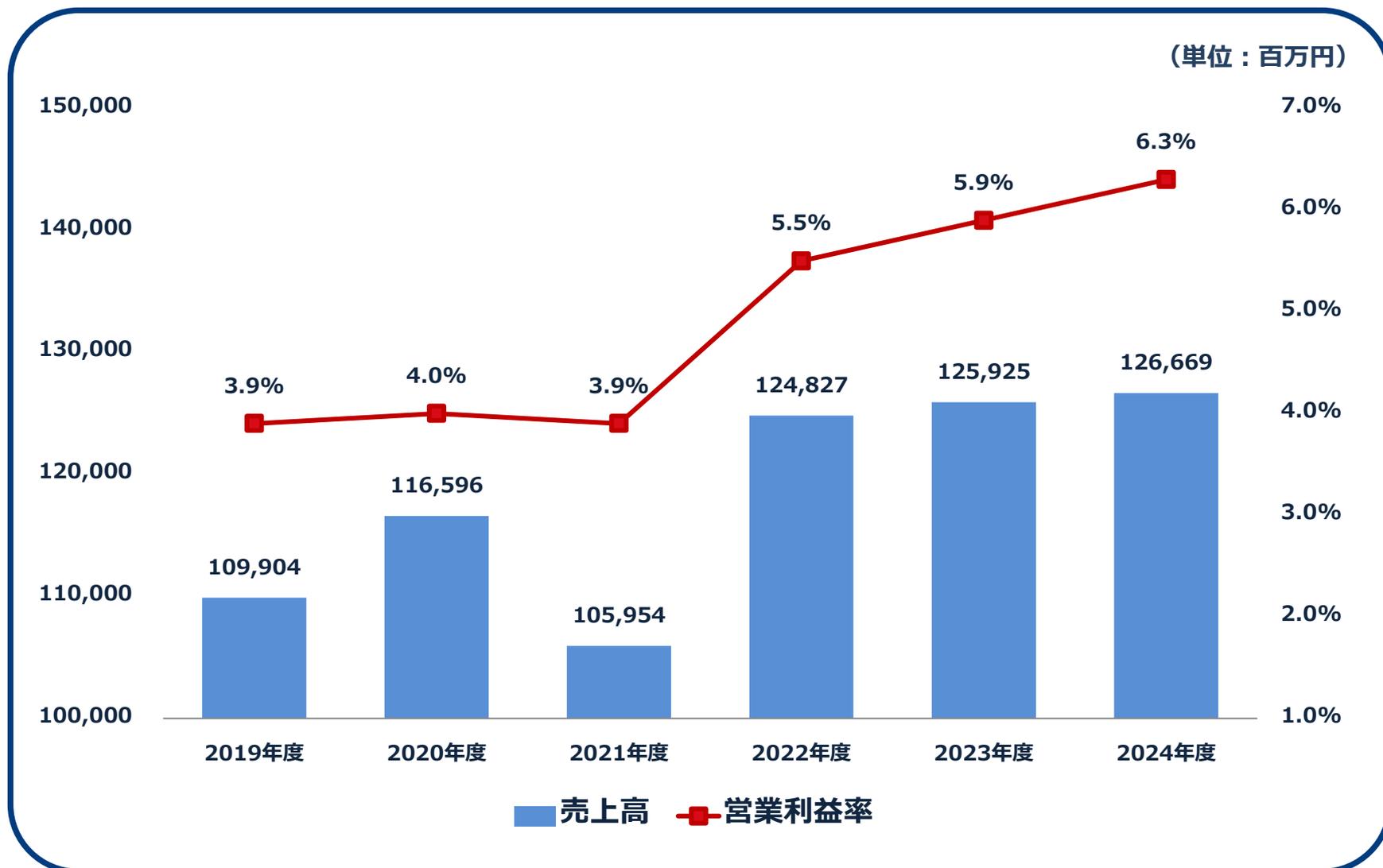


■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

# 売上・営業利益率推移



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先  
株式会社栗本鐵工所  
総合企画室 IR・SR部  
TEL:06-6538-7719  
E-mail : [ir@kurimoto.co.jp](mailto:ir@kurimoto.co.jp)  
HPアドレス : <https://corp.kurimoto.co.jp>

**KURIMOTO**